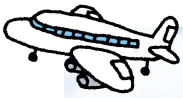

姉妹都市・アイダホフォールズ市への一般訪問団員募集！

東海村国際交流協会では、村の国際親善姉妹都市・米国アイダホフォールズ市を訪問する一般訪問団員を募集します。

30年以上続くこの姉妹都市交流。訪問団は、市長の表敬訪問や市内施設の視察、歓迎行事等への参加のほか、ホームステイを予定しています。ホームステイや現地の方々との交流を通して、異文化を学んでみませんか。皆さんの参加をお待ちしています！ なお詳細は、村公式ホームページをご覧ください。

【期　　間】

10月２日（日）～12日（水）

【対 象 等】

村内在住・在勤または東海村国際交流協会会員で、21歳以上の方（先着10人程度）

【費　　用】

約18万円（航空券、燃料サーチャージ、出入国書類作成手数料等を含む、現地滞在費用は別途）※航空運賃等の改定により、金額が変動することがあります。

【そ の 他】

▽海外旅行保険に加入します。 ▽訪問に当たり、東海村国際交流協会に入会していただきます。会費など詳細については、同協会ホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ】

姉妹都市交流会館（☎282-0535）備え付けの申込書に必要事項を記入の上、５月31日（火）から６月24日（金）までに申し込みください。※申込書は、村公式ホームページからもダウンロードできます。

ふるさと歴訪～自然を探して～

メダケの赤衣病

千葉科学大学専任講師 糟谷 大河

「メダケ」は関東地方以西に広く分布し、林縁や河畔、海岸等に生育するササの一種です。タケという名前が付いていますが、メダケは茎（タケ・ササ類では「稈（かん）」）を包む鞘（さや）、すなわちタケノコの皮が成長しても剥がれず、枯れるまで稈に残るため、ササの仲間に分類されます。ちなみに、タケとササは、タケノコの皮が成長すると稈から剥がれるか、剥がれずに枯れるまで残るかという違いにより区別されます。

メダケは地上からの高さが８メートル近くに達し、ササの仲間としては大型になりますが、すらっと細く、しなやかで優しい印象を受けるので「女竹」と呼ばれます。竹かごや竹細工、釣り竿（ざお）等の材料として、メダケは古くから人々に利用されてきたため、人家の周辺にも多く植えられてきました。東海村でも、メダケは各地に群生しています。特に、石神外宿、竹瓦から亀下にかけての久慈川の河川敷には、まとまったメダケの群生地があります。

メダケの赤衣病

メダケ

さて、冬から春にかけて、メダケの稈に黄褐色あるいはだいだい色の奇妙な塊が付着しているのを見たことはありませんか？これは「赤衣病（あかごろもびょう）」といい、サビキンの仲間の菌類がメダケに寄生することで発生する病気です。サビキン類は、シイタケやマツタケなどのきのこ類と同じ担子菌類の一群で、生きた植物に寄生し、植物体から栄養を奪って生活しています。

メダケに寄生するサビキンは「メダケ赤衣病菌」と呼ばれ、冬から春にメダケの稈に黄褐色からだいだい色の胞子の塊をマット状に拡げます。稈が衣をまとったように胞子の塊に覆われるので、「赤衣」の名が付きました。この塊を触るとグニャグニャとした感触で、表面はなめらかもしくは粉状です。冬から春にかけて胞子の塊が肥大化し、夏になると塊はぼろぼろと剥がれ落ちて、稈には黒い斑点が形成されます。こうして、メダケ赤衣病菌はメダケから栄養を奪い取って弱らせ、枯死させることもあるのです。

平成28年５月25日号 第290号
▼発行 東海村（村長公室広報広聴課）
〒319-1192 那珂郡東海村東海三丁目７番１号
☎029（282）1711 http://www.vill.tokai.ibaraki.jp